



第2章

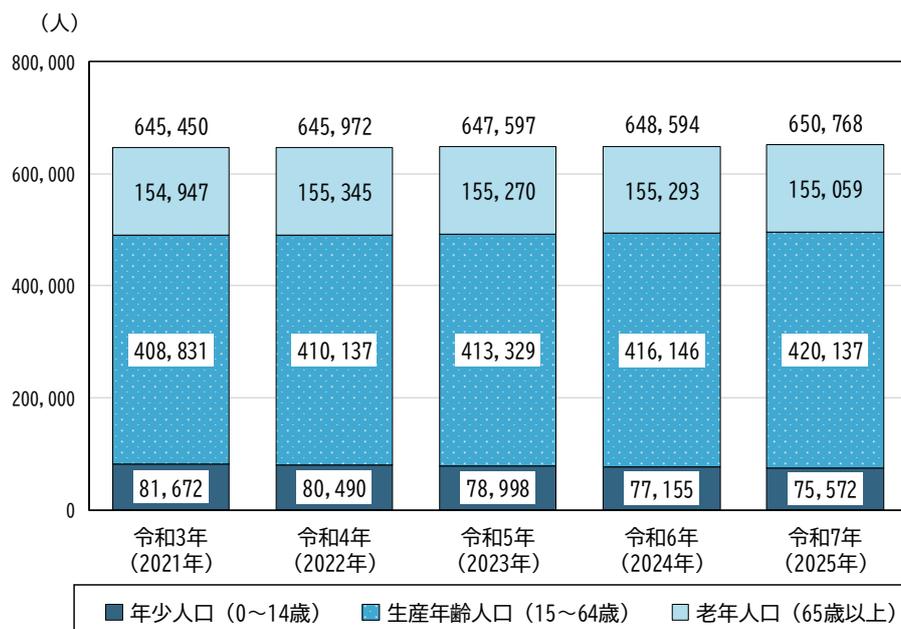
こども・若者・子育て家庭を 取り巻く状況



1 船橋市の現状

(1) 総人口の推移

① 総人口（年齢3区分）



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

本市の人口は増加傾向で推移しており、令和7年（2025年）には650,768人となっています。

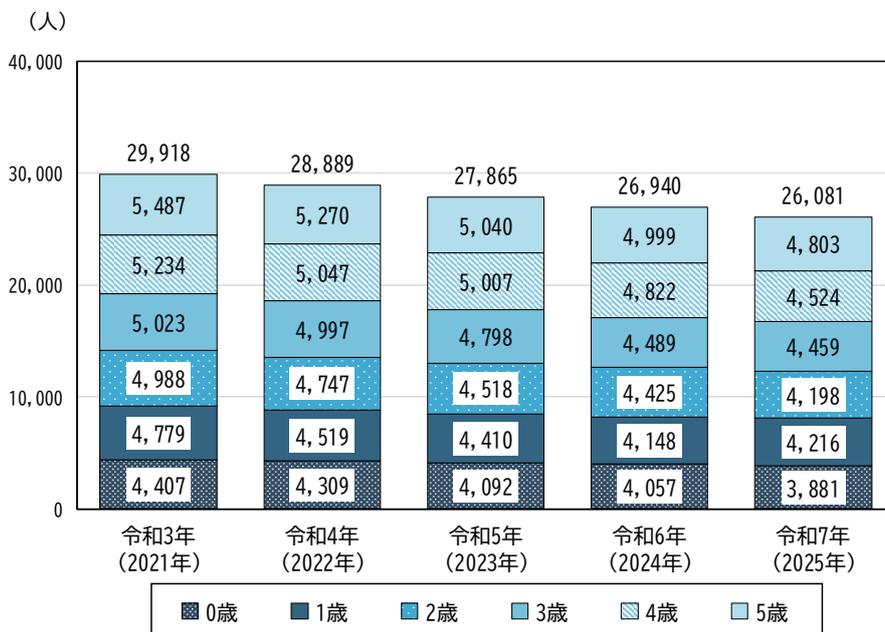
また、年齢3区分別人口構成の推移をみると、老年人口（65歳以上）はほぼ横ばいであるのに対し、生産年齢人口（15~64歳）は年々増加しています。

一方で年少人口（0~14歳）は年々減少し、令和7年（2025年）には75,572人となっています。



(2) 子ども・若者の人口の推移

① 就学前児童（0～5歳）

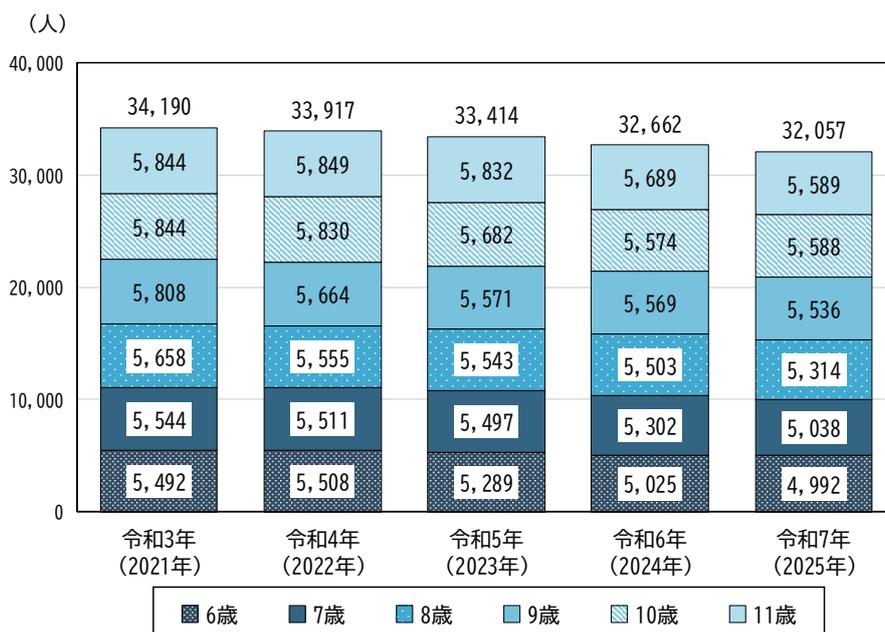


資料：住民基本台帳（各年4月1日）

本市の0～5歳の子ども人口は減少傾向にあり、令和7年（2025年）には26,081人となっています。



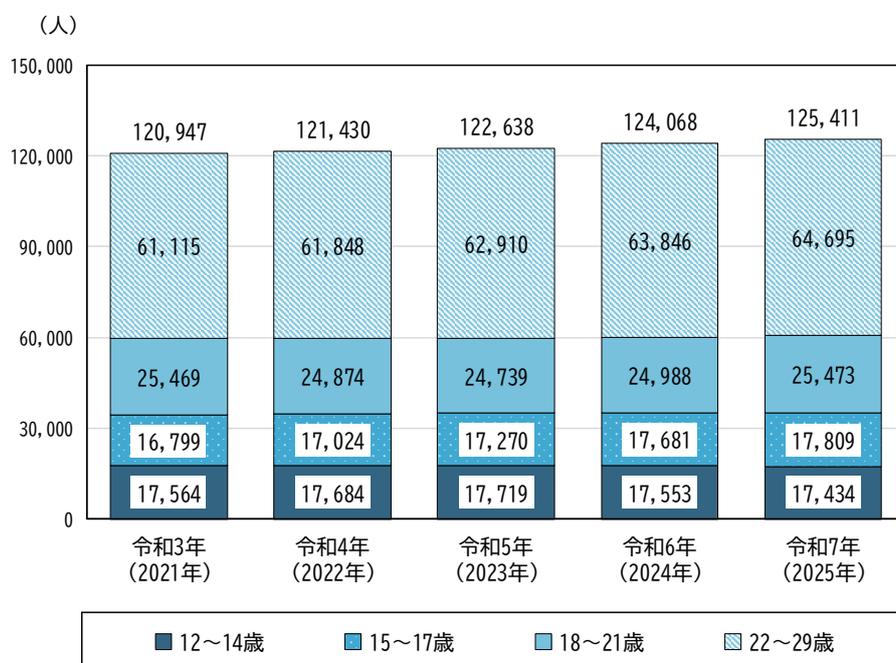
② 就学児童（6～11歳）



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

本市の6～11歳のこども人口は就学前児童と同様に減少を続け、令和7年（2025年）には32,057人となっています。

③ こども・若者（12～29歳）



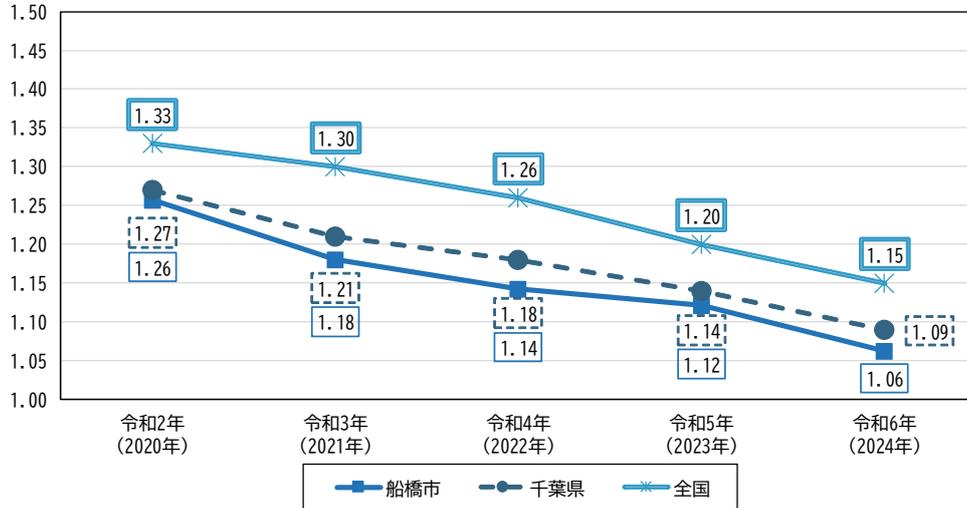
資料：住民基本台帳（各年4月1日）

本市の12～29歳のこども・若者人口は増加傾向で推移しており、令和7年（2025年）には125,411人となっています。



(3) 出生数の推移

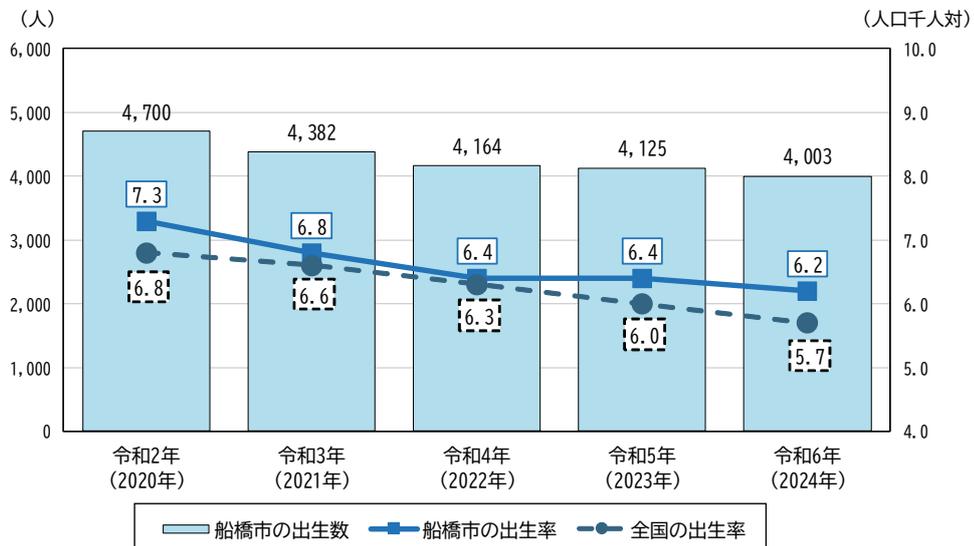
① 合計特殊出生率



資料：千葉県 合計特殊出生率の推移市町村別

合計特殊出生率は、15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に産むこどもの数を表しています。本市の合計特殊出生率は令和2年（2020年）以降減少傾向にあり、令和6年（2024年）には1.06と全国・千葉県の数値を下回っています。

② 出生数・出生率



資料：船橋市統計書（船橋市）

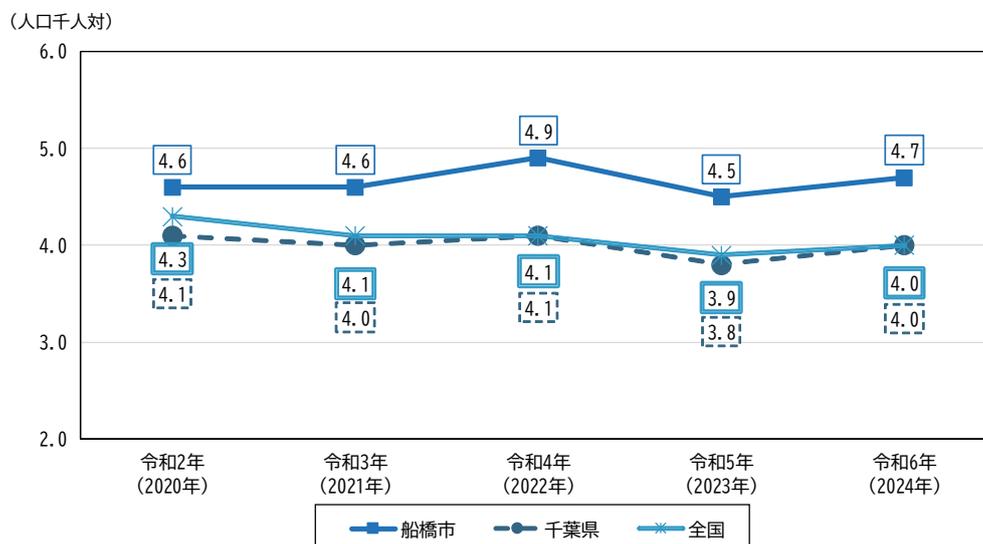
令和5年（2023年）厚生労働省 人口動態統計の年間推計（全国）

出生率は、人口1,000人あたりの1年間の出生児数の割合です。本市の出生数は令和2年（2020年）以降減少が続き、令和6年（2024年）には4,003人となっています。出生率も減少傾向にありますが、全国の数値をわずかに上回っています。



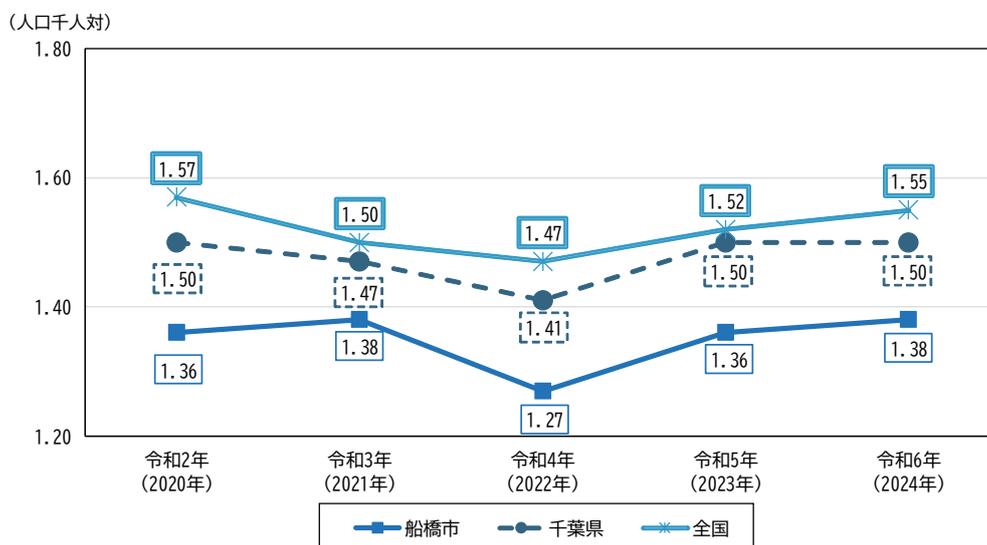
(4) 婚姻率・離婚率の推移

① 婚姻率



本市の婚姻率の推移をみると、増減を繰り返しながら推移しており、令和6年（2024年）には4.7となりました。いずれの年も全国・千葉県の数値を上回っています。

② 離婚率



本市の離婚率の推移をみると、増減を繰り返しながら推移しており、令和6年（2024年）には1.38となっています。全国・千葉県もおおむね同様の傾向がみられますが、本市はそれらの数値を下回っています。



